

山東師範大生が国際交流

中国山東省の山東師範大学・大学院の学生と教員11人が8日、国際交流を目的に来日した。12日には濱口太史県議、上田勝之、松畑玄両市議会議員らの案内で新宮市内の中学校や市役所などを回り、知見を広げた。

一行は2班に分かれ、市立城南中学校(中田善夫校長)と緑丘中学校(松本潤校長)を訪れた。午後には県立新宮高校(前田成穂校長)を訪問した。

新宮高校では学食を味わい、宮井貴浩教頭の案内で各教室の授業やグラウンド、武道場、図書館などを見て回った。体育館では入場した一行を2年生199人が拍手で迎えた。

新宮市や那智勝浦町で

濱口県議が訪問団の説明をし、同校生徒と学生が互いの学校を紹介。学生と生徒は10グループに分かれて自己紹介や趣味、年齢を質問し合ったり打ち解けると、バスケットやダンスを披露するなどして盛り上がった。邵提さん(24)は「生徒のみんなと話をし、とても勉強になった」。

た。新宮市の印象は穏やかな町。食べ物がいしく、環境も人も温かかったです」。上野優月さん(16)は「初めて交流するとは思えないほど、楽しかったです。普段は外国の方と関わる機会がないため、貴重な経験で有意義な時間でした」と笑顔で語った。

宮井教頭は「思った以上に生徒と皆さんがすぐに打ち解けており、楽しそうな姿が見られました。今後はさらに交流の場を増やし、つながりを大切にしたい」と話していた。

一行は13日に阿須賀神社や徐福公園を訪れ市徐福研究会と交流し、那智勝浦町に移動。かまぼこセンターで昼食を取り、和歌山県土砂災害啓発センターを見学した。(榮本康人、石田幸子)

新宮高校生徒と記念撮影=12日、県立新宮高校



徐福上陸の地記念碑を見学
=13日、新宮市阿須賀町



土砂災害啓発センターで話を聞いた
=13日、那智勝浦町



2班に分かれ緑丘、城南両中学校を訪問=12日、新宮市



議場を見学し説明を受けた=12日、新宮市役所



特技を披露し交流を深めた=12日、県立新宮高校

